



発行 伊勢宮区 区
代表 寺澤永 悟
編集 文化 部
印刷 長野印刷商工(株)

一年を振り返って

区長 寺澤 永 悟

令和六年度も残すところ一ヶ月となりました。

新型コロナウイルス感染症が、令和五年五月八日感染症法上の「5類」に移行され、緊急宣言による行動制限や入院勧告などの対策は行われなくなりました。マスク着用などの感染対策も基本的に個人の判断に委ねられています。

令和六年度は、概ね事業計画に則った事業を推進してきました。なお諸事業の推進に当たっては、手指消毒、マスク着用などの基本を徹底し、細心の注意を払いながら実施致しました。コロナウイルスが弱体化したわけではないので、できる限りウイルスを持ち込まないよう同じ対策を続けていくしかないと思います。この間、区民の皆さまのご理解・ご協力で感謝と御礼を申し上げます。

特に印象に残ったイベントの紹介をいたします。

十月六日に行われた第五十八回伊勢宮区運動会でした。天気にも恵まれて競技が始まると、大人も子供もチーム一丸となって声を出し、応援・競技に一生懸命で活気がありました。

ぬくもりの里伊勢宮（介護施設）の方々を招待して「パン食い競争」に出場してもらいました。「よーいドン」の合図で、アンパン目掛けて車椅子で（施設の職員が各一名づつ付き添いして）アンパン目掛けて突進！なかなかうまくくわえられない様子でみなさん右住左住していました。最後は、優しい付き添い職員が手伝って「パクッ！」その瞬間は、満面の笑みで、私たちも感無量でした。観覧の子供さんたちが「おじいちゃん・おばあちゃん頑

張って！」と応援している様子を見て微笑ましく、嬉しく思いました。伊勢宮の子供さんの思いやりに心暖まりました。

地域における繋がり、支え合いの脆弱化も進み、人間関係の希薄化が問題となっている現在、イベントは、普段は、あいさつ程度

人権教育研修会

公民館長 寺澤 悦子

人権に対する意識・感覚を高め、あらゆる差別を無くし、誰もが住みやすい地域社会を築く目的で、人権教育研修会が十月二十日、伊勢宮公民館に於いて、多数ご参加いただき開催いたしました。

今回は、DVD視聴「永遠の記憶」認知症を知る。認知症についての基本的な知識や周囲の方々への対応」を学びました。

高齢化社会に入り、認知症は、日本社会全体の課題になっていきます。世界も高齢化に向かっており「加齢」を最も大きなリスク要因としています。認知症は、六人に一人がなるといわれ、誰もが「物忘れ」か「認知症」を発生します。

「初めてお会いします」といった方々が仲良くなれる絶好の機会じゃないかと思われまます。

地域交流ができることは、区としても本当にすばらしい事だと感じ、極力イベントが行われよう邁進致します。

認知症を予防する生活や、認知症になる準備をして、認知症を自分事として意識し、認知症になっても、安心して暮らせる社会をめざしていくために、一人ひとりができる事は何かについて考える機会になりました。



カーブミラーの清掃・点検結果

安全部長 浅井 正博

令和六年九月十五日に、伊勢宮区内に設置されているカーブミラーの清掃と点検を行いました。今年度は台風の影響で、二週間遅れの実施となりました。

役員のご協力をいただき、安全部員と合わせて十七名で四十八箇所について作業を行い、無事、終了しております。

日頃、何気なく当たり前に利用しているカーブミラーですが、一見するときれいに見えるミラーも、清掃してみますとかなり汚れています。点検してみますと、笠やミラーの破損が多いことがわかりました。今回の点検によりわかった破損等につきましては、できるだけ早期に是正されるよう、区長から長野市に働きかけて頂く予定です。

カーブミラーは、交通安全のために重要な役割を果たしている物ですので、この機会に区民の皆様には、あらためて、大切に利用する意識を持っていただき、より安全で安心して暮らせる伊勢宮区を作ってまいります。



第二十七回

文化・芸術祭

「迫力のある楽しい演奏を満喫」



十一月三日、十時から文化芸術祭が公民館二階で開催され、八十八名の皆様のご参加を頂きました。準備した椅子席では足りず、左右後方の扉も外し立ち見して頂く状況となり、昨年より大盛会となりました。

今年、裾花中学校吹奏楽部の生演奏を企画し、打診の結果快諾を頂き、実施の運びとなりました。

当日準備の段階での音出しで、ドラムの音量が大きく心配な一面もありましたが、いざ演奏が始まるとそんな心配もどこへやら。生演奏の迫力に会場の皆さんも気にならない様子でした。演奏曲は「勇気100%」「ジャパニーズ・グラフィティⅧ」「め組のひと」「マツケンサンバⅡ」「ふるさと」



「ヤングマン-YMCA」というポピュラーで親しみのある楽しい六曲。アップテンポの曲では、皆さんの拍手も加わり大変盛り上がりました。プログラム終了の際には、会場の皆様よりアンコールの拍手が起き、二曲を披露して頂き、大盛況のうちに閉会となりました。



令和6年 伊勢宮地区 敬老会

健康福祉部長 小 幅 礼子

九月十七日に、ホテル信濃路にて民生委員・役員を含む二十九名が参加して敬老会が開催されました。

まず、全員で写真撮影をし、会場を移しました。米寿の方が、四名いらしたのですが、檀上へ上がっていただき、賞状と記念品の贈呈を致しました。残念なことに、一名の方が体調不良で大事を取ってこれませんでした。

催しは、ビンゴゲーム・カラオケと皆さんで参加していただき、とても盛り上がりました。周りの方と声を掛け合い協力しながら、進行していきカラオケは大盛り上がりでした。お酒も入り、あっという間に時間が過ぎていきました。

顔見知りの方が多かった為、和気あいあいと談笑されているのが印象に残りました。



初めての敬老祝賀会に参加させていただきましたが、とても楽しい会でした。ありがとうございました。

また区長・副区長・公民館長・文化部長の皆様ご協力・ご助力いただきありがとうございました。

ふれあい ほのほの はつらっ

伊勢宮区民運動会



第五十八回伊勢宮区民運動会が、十月六日に開催されました。

ラジオ体操で身体をほぐし、全員参加の「じゃんけん大会」で笑顔になりました。園児や幼児が参加した「満員電車」や「はたひろい」、「スプーンレース」では、子どもさんを抱いたお母さんお父さんが、全力で走る姿が見られたり、「紅白玉入れ」では、小学生の子ども達と一緒に長寿会の皆様が無事に玉入れを楽しんだりしました。ぬくもりの里の皆さんには、パン食い競争に参加していただきました。

普段行き会ってない懐かしい人と話が弾んだ運動会。

小学生だったあの子どもが、お父さん、お母さんになった姿も見られました。五十八年目を迎えたこの大会ですが、昭和の頃には、裾花中学校のグラウンドをお借りして実施した時は、地区対抗で工夫を凝らして応援合戦をし、声をからしたこともありました。

幼児から年配の方まで幅広い世代の方々が一堂に会し参加したこの大会では、色々な思いを巡らしたり、交流を深めたりして、充実したものになったのではないかと思います。また、秋空に恵まれ、心も体もリフレッシュできたのではないのでしょうか。



お助け隊 大活躍

安全部長 浅井正博

深刻な少子高齢化や人口減少による家族機能の低下、地域における繋がり・支え合いのせい弱化が進み、人間関係の希薄化が問題となっている今後を憂い、地域住民同士が支え合うことを願って、小林廣前区長は「お互い様会」の復活を呼びかけ、五名の方が意志に賛同しました。昨年の十月から活動を開始し、これまでにゴミ捨て一軒(週一回)、草取り七軒(二十三回)、片付け一回、買い物一回、雪かき九軒(二十五回)の活動を行い、支援を要望されていた方々に喜んでいただき、お礼の言葉をいただいています。これを励みにして、これからも「伊勢宮区って、いいところだな」皆さんがそんな気持ちで暮らせる町になるよう活動していきたくと思っています。将来的には、区の枠を超えて各地区のお助け隊が協力し合い、安茂里地区全域で、困っている方を助けられるようになったらいいと思っています。

しめ縄作り教室



年度末が近づき、伊勢宮区の皆様もいろいろな行事・用事が目白押しで、日々忙しく過ごされていることと思います。

さて、昨年

月八日(日)に「しめ縄作り教室」が伊勢宮公民館にて開催されました。

前年に続き、講師に北原剛さんをお招きし、三十名程の皆様が参加されました。最初に北原さんから、しめ縄は左縄、水を吹くとヨ



り易いなど簡単な説明の後、皆さんワイワイガヤガヤ試行錯誤し、しめ縄作りを楽しまれていました。

しめ縄といえば、個人的には玄関ドアに飾るイメージがありますが、皆さんのお宅ではいかがでしょうか？元々は神道の新祭具で、糸を表す紙垂(しで)を付けた縄のことで、神聖な場所と外側の境界(結界)の役目があるようです。

今回の教室では、玄関先、神棚、トイレに飾るものを作っていました。

北原剛講師さん始め、ご参加された皆様、お疲れ様でした。

どんど焼き



一月十二日に、正月飾りなどを燃やして家内安全、無病息災を願う「どんど焼き」が伊勢宮公園で行われました。

朝から、育成会の皆さん、子供たちが、お正月飾りを集め、区の役員の皆さんによってやぐらが組み立てられ、とても立派なやぐらが完成しました。



午後一時から火入れがおこなわれ、やぐらに火が入ると、パチパチと音が立てながら勢

いよく燃え上がりました。

どんど焼きの火にあたり、一年間病気をせずに過ごせる、どんど焼きで焼いた餅を食べると、災いや厄を免れるといった言い伝えがあるそうです。

今年も、伊勢宮区の皆さんにとつてご健康で幸多き一年となられますようお願い申し上げます。

編集後記

今年度三回の「会報いせみや」を、無事発行することができました。

この一年間、部員が一丸となり、伊勢宮区で行われた様々な活動の様子を、皆様にお伝えしようと頑張っていました。この会報を通して、区の活動に対する理解を深めていただければと思っております。

一年間ありがとうございました。今後も区民の皆様のご協力をお願いします。

文化部一同

歳末防犯。防火パトロール



十二月二十九日と三十日に、防犯・防火パトロールが行なわれました。消防防犯部員や育成会の子ども達、区役員が参加し、拍子木の音の後に「火の用心」のかけ声をかけながら、区内を回りました。これを機会に、歳末だけではなく、日頃から防犯・防火の意識を高めてほしいと思います。ご参加、ご協力をお願いいたします。